

土砂くずれの話

平間 整

きょ年の冬、ぼくはじどう館でおかあさん
のまむかえをまていました。なかなか来な
いので、
「お母さん、おそいなあ」
と田んぼに行きました。お母さんがまむかえに
まました。
「おそくちよてづめんあ。高速道路が土砂く
ずれで、道が通行止めだ。たの。」

とぼくおあさんが言いました。
「おへんだ。たの。」
とぼくは、思いました。
ぼくがおじいちゃんの家に行くとき、
高速道路は、山をけずてつくっています。
だから雨が地しんでくずれやすいのです。
ぼくは、山が大すきです。それは、山を見
ると心がほっとするからです。あと、山の形
が色々あって、いろいろな形になつたの
かを考えるのがおもしろいからです。

でも、きけんがとるも、いっはいあります。たとえば、土砂くずれや火山のふん火などです。大雨で土石流やかけくずれがおきる。家が下じきになりたりながされたりします。コンクリートがぬれるくらい強い力です。土砂くずれは雨がたまると後でもおきる。とかあるのだけれど、たいていはいけません。それは雨が土や石がすべったりころかりおすくなるからです。

ほくは、この夏、青森けんに行くと、これ

大雨にありました。川の流れが速くなると道がこわれそうでした。わがたです。

車がぬれるかも

と思っておくときんちようしておまらた。でも、帰りに晴れて、大好きな岩木山も見えました。

ほくは山が好きなので、ほかの県やほかの国の山も見てみたいです。そのときは、天気もよくて活動していきみたいです。